

法医学セミナー開催のご報告

「卒前・卒後一貫 MD-PhD コース」が主催した法医学セミナーが、平成26年7月11日(金)15時30分から、群馬大学医学部基礎講義棟基礎中講堂で開催されました。



セミナーは、小湊法医学分野教授の開会の挨拶、両先生の紹介で



始まり、続いて山形大学法医学講座教授の山崎健太郎先生から「王道はいかない」と題した講演がありました。

さらに、筑波大学名誉教授で東京都監察医務院前院長の三澤章吾先生か



ら「法医学の社会的意義-何故この道を選んだのか-」と題した講演があり、出席した学生は熱心に聞き入っていました。

講演後の質疑応答では、人間味溢れる両先生が学生の質問に対して、時にユーモアを交え、時にタイトルに相応しい真面目なお話をしてくださり、静かで真剣な雰囲気の中でセミナーを終えました。



前列左から、石崎教務委員長、三澤章吾先生、山崎健太郎先生、小湊法医学分野教授